

島根県の地震

令和4（2022）年8月

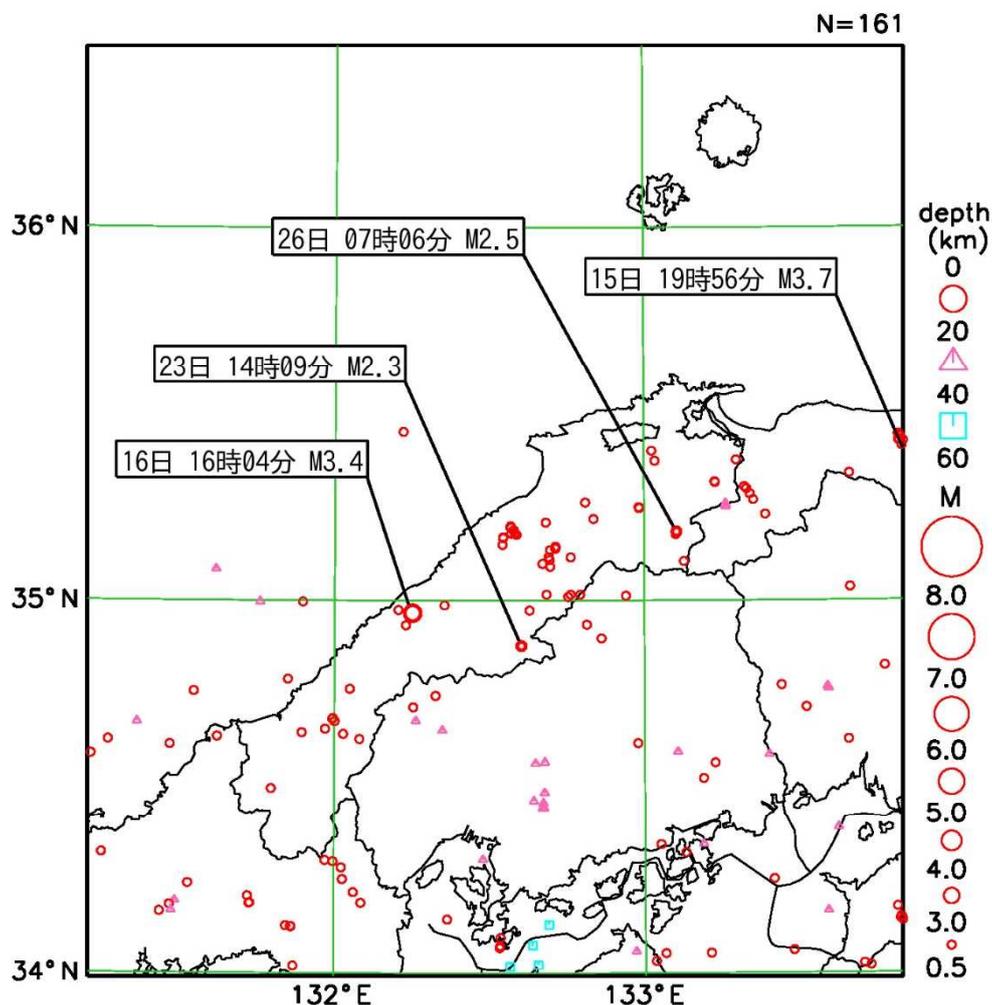
・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2022年8月1日～31日

2022 08 01 00:00 -- 2022 08 31 24:00



[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は161回（7月は173回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、4回でした。

15日19時56分 鳥取県中部の地震（深さ11km、M3.7）により、隠岐の島町で震度1を観測しました。鳥取県倉吉市で震度3を観測したほか、鳥取県、岡山県、香川県で震度2～1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

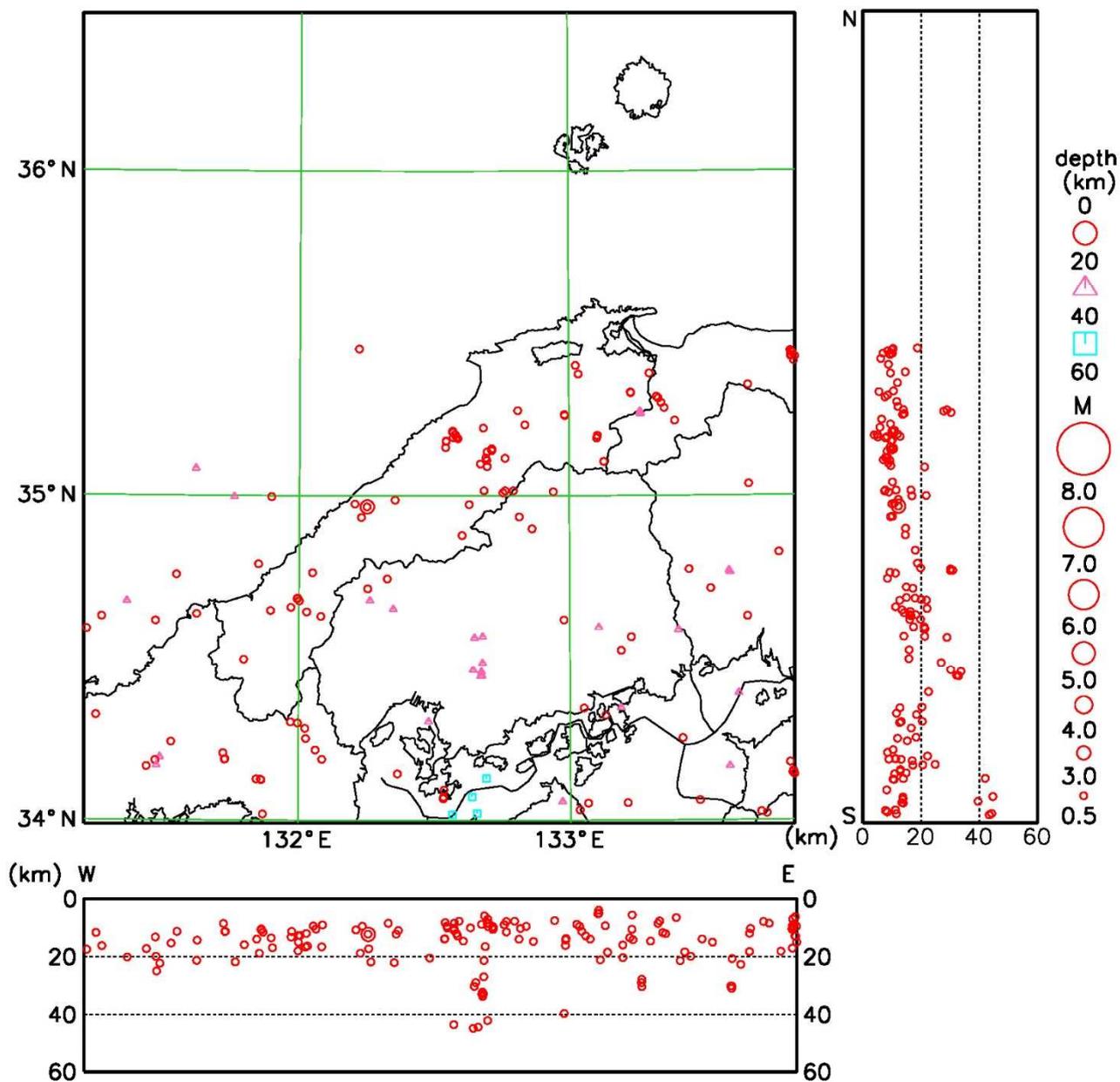
16日16時04分 島根県西部の地震（深さ12km、M3.4）により、江津市で震度2を観測したほか、島根県、広島県で震度1を観測しました。

23日14時09分 島根県西部の地震（深さ15km、M2.3）により、邑南町で震度1を観測しました。

26日07時06分 島根県東部の地震（深さ4km、M2.5）により、奥出雲町で震度1を観測しました。

[断面図]

2022 08 01 00:00 -- 2022 08 31 24:00



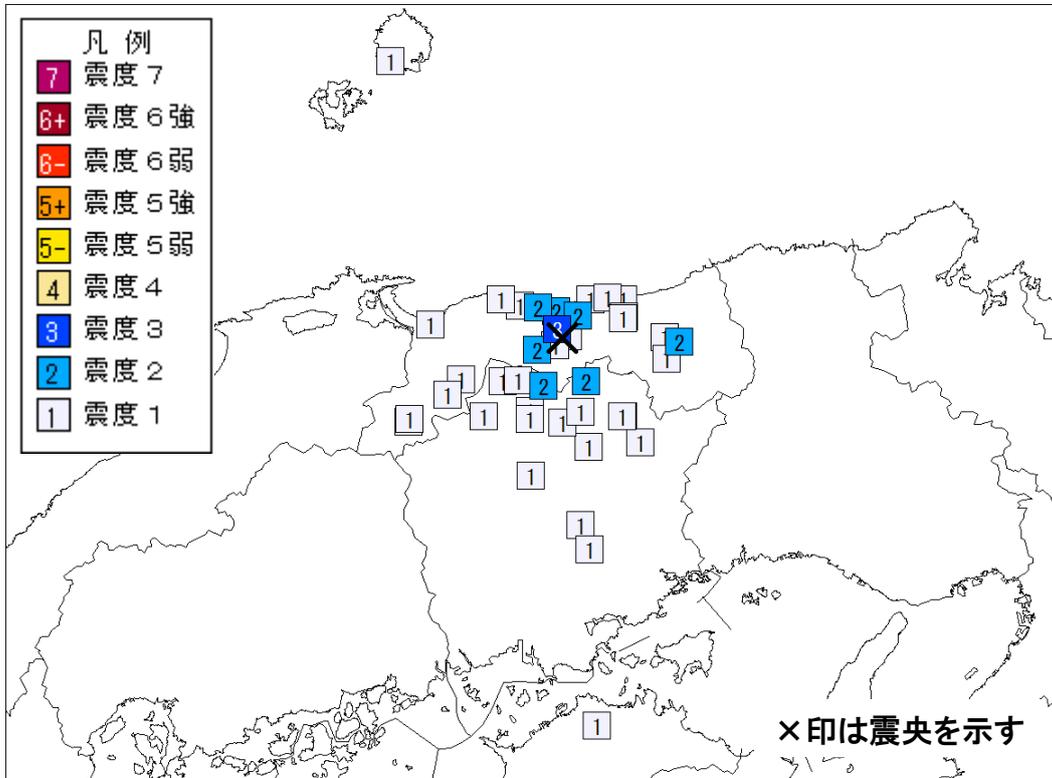
8月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2022年08月15日19時56分 ----- 地点震度 ----- 島根県	鳥取県中部 震度 1： 隠岐の島町都万*	35° 24.1' N	133° 50.6' E	11km	M3.7
2022年08月16日16時04分 ----- 地点震度 ----- 島根県	鳥根県西部 震度 2： 江津市江津町*，江津市桜江町川戸* 震度 1： 浜田市大辻町，浜田市三隅町三隅*，浜田市旭町今市*，大田市温泉津町小浜* 川本町川本*	34° 57.9' N	132° 15.0' E	12km	M3.4
2022年08月23日14時09分 ----- 地点震度 ----- 島根県	鳥根県西部 震度 1： 邑南町下口羽*	34° 52.7' N	132° 36.1' E	15km	M2.3
2022年08月26日07時06分 ----- 地点震度 ----- 島根県	鳥根県東部 震度 1： 奥出雲町横田*，奥出雲町三成*	35° 11.0' N	133° 06.3' E	4km	M2.5

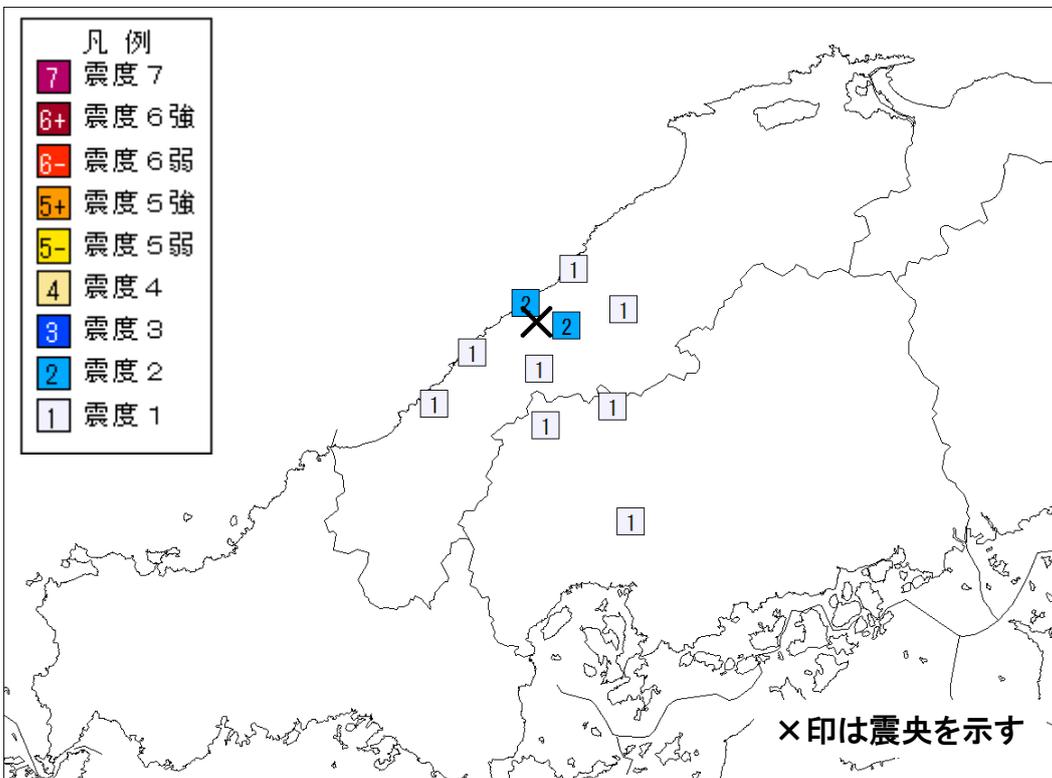
・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【観測点震度分布図】

2022年8月15日19時56分 鳥取県中部



2022年8月16日16時04分 島根県西部



【観測点震度分布図】

2022年8月23日14時09分 島根県西部



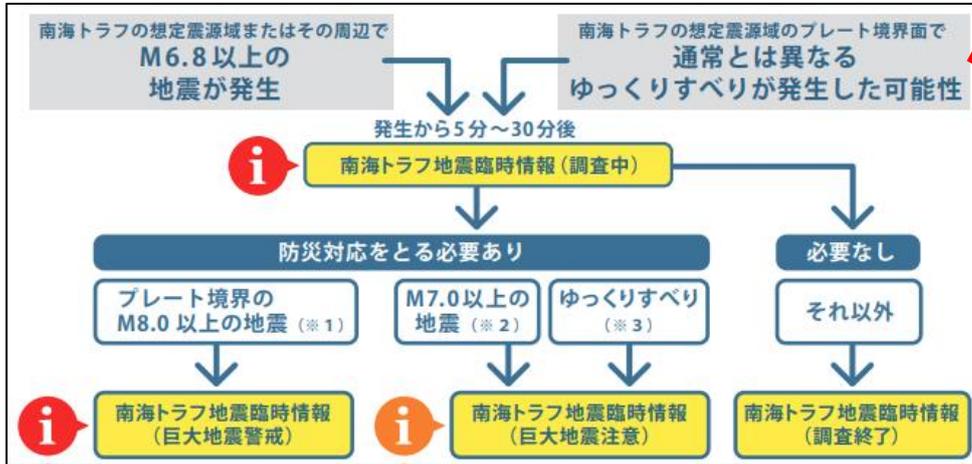
2022年8月26日07時06分 島根県東部



地震一口メモ

南海トラフ地震臨時情報の発表条件 ～ゆっくりすべり～

南海トラフ地震臨時情報（調査中）は、地震による場合のほかに、通常とは異なるゆっくりすべりという現象が発生した可能性がある場合にも発表します。ゆっくりすべりとはゆっくりと断層が動く現象で、人が揺れを感じることはありません。



リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」より抜粋
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>

通常と異なるとは？

南海トラフのプレート境界深部（深さ 30～40km）では数ヶ月から 1 年程度の間隔で、数日～1 週間程度かけてゆっくりとすべる現象が繰り返し発生しています。

ゆっくりすべりがよく発生する場所と異なる場合や、よく発生する場所でも、変化の速さや規模が大きいなど、いつもと異なる場合には、プレートの固着状況に変化があった可能性を考え、南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表し調査を開始します。

調査の結果、プレート境界面上で通常とは異なるゆっくりすべりが発生したと判断した場合には、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表します。

○「短期的ゆっくりすべり」

- ・プレートの境界の沈み込んだ領域で数日から 1 週間程度ゆっくりすべる現象。
- ・南海トラフ地震臨時情報の対象。

○「長期的ゆっくりすべり」

- ・短期的ゆっくりすべりより浅い領域で、数ヶ月～数年間ゆっくりとすべる現象。
- ・南海トラフ地震臨時情報の対象ではない。変化速度が小さく、短期的にプレート境界の固着状態が変化するものではないため。

○「深部低周波地震（微動）」

「短期的ゆっくりすべり」の発生とほぼ同じ時期に、そのすべり領域とほぼ同じ場所を震央とする、通常地震より長周期の波が卓越する地震です。これは「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられています。揺れを感じることはありません。

